

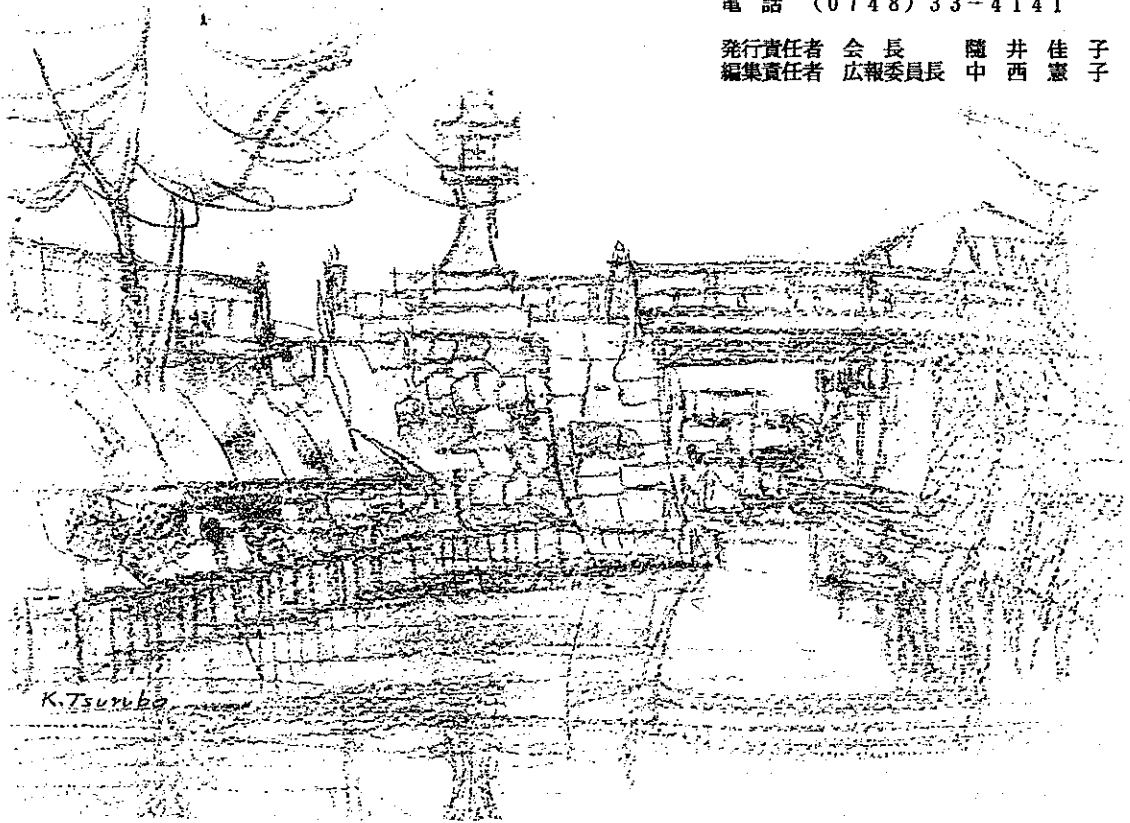
第9号

平成10年12月

あすなろ

発行所 近江八幡商工会議所婦人会
住所 近江八幡市桜宮町231-2
電話 (0748) 33-4141

発行責任者 会長 随井佳子
編集責任者 広報委員長 中西憲



つち

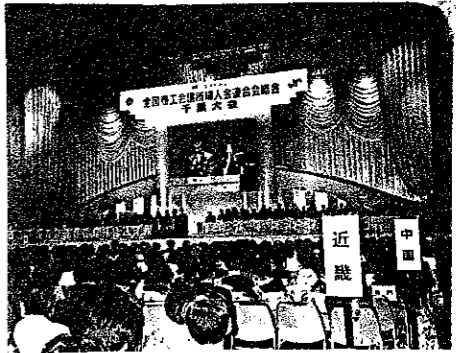
ソツフン、ソツフン
ぶたれるつちは
よいはたけになて
よいむぎ うむよ。

あさから ばんまで
ふまれる つちは
よいみちに なて
くるまを とおすよ。

ぶたれぬ つちは
ふまれぬ つちは
いらぬ つちか。

いーいえとれば
なのないくさの
あやどを するよ。

会長のまことご挨拶



「全国商工会議所婦人会連合会総会に参加して」

近江八幡商工会議所婦人会 会長 随井佳子

秋たけなわの去る十一月九日、十日の両日、夢半島千葉幕張メッセで開催された「全商婦連総会」に当婦人会より十名で参加致しました。

米原駅より新幹線ひかりで少し雪を頂いた麗峰富士山の姿や、秋の風情漂う景色を両窓に楽しみながら一路幕張へ。新横浜駅よりチャーターバスにて、横浜中華街一番の有名な「聘珍楼」で昼食の舌鼓みを打ち、その後先進地視察で今年九月にオープンした「横浜ベイサイドマリーナ」ショッピング&レストランツを見学し、横浜の雰囲気を出した若者向けの広場と云う感じを受けました。

横浜横須賀道路をドライブして東京へ。夕食は赤坂ホテルニューオータニのディナー懇親会でリッチな気分を味わい、その後、ネオン華やかな新宿歌舞伎町で夜の探検をしました。首都東京の夜景を眺

め、午後十時に「幕張プリンスホテル」にて旅装を解き、各ルームには、千葉県婦人会の方から、心温まるメッセージと名産の落花生でお迎えを受けました。翌朝、身仕度を整え愈々総会に出席です。平成十年十月にコンベンションセンターとして幕張メッセが開かれたイベントホールが会場で、ホテルより歩いて二分位のところです。

玄関で、情報発信基地であり、発展を期待していると力強い挨拶がありました。景気の低迷期の今日こそ、女性経営者として特性を活かして、地域経済発展の為に、女性パワーを発揮する必要の認識を強めました。

房総半島の菜の花をイメージしたクリム色のお揃いのコスチュームで、女性ならではの、きめ細かい心遣いの歓迎を受け、又地元の三世代の方々の太鼓演奏等で賑やかに出迎えて頂き、一層華やいだ雰囲気でした。

記念講演として、落語家の桂文珍氏が、「落語的学問のすゝめ」を演題にお話をされ、亜ひ酸等で世相を反映した場面では、笑いの場が起こり、緊張もほぐれて和やいだ一時でした。

全商婦連は、昭和四十四年に結成され、第一回総会は、大阪で開催され、本年千葉大会は第三十回の記念の年で、全国三百六十五婦人会の三千六百余名の参加で熱気溢れる会場でした。

総会懇親会が、「幕張メッセ国際展示場9番ホール」で行われ、一堂に会して、スケールの大きさに嘆声が続けられました。沢山の優待と溢れる友情を胸に、海浜幕張駅より帰路につきました。

押坂忍さんの司会で式次第も進み、出席婦人会の紹介があり、滋賀県内六婦人会員で、お揃いの琵琶湖の水を表した色鮮やかなブルーのタスキとハンカチで大いにアピールしました。千葉県の知事さん等が、幕張新都心として、空と海との

時間等許されるならば是非、女性の集まりイベント行事等に自己研鑽の場として参加、体験してみても如何でしょうか。ご参加くださった皆様、本当にお疲れさまでした。

寄稿

滋賀県商工会議所婦人会連合会設立について

大津商工会議所婦人会 会長 西居 咲子

近江八幡商工会議所婦人会の皆様はじめまして、私大津商工会議所婦人会の西居と申します。このたび、随井会長より「あすなる」発刊にあたり、原稿の依頼を受け賜わり寄稿させていただきました。さて、昨今の経済情勢は、バブル経済崩壊後の景気の低迷、雇用状況の不安定などにより個人消費が冷え込み、昨年度かつの金融機関等の破綻などあり極めて厳しくなっております。

この様な中、男女参画社会といわれているおりから、女性の果たす役割はますます大きくなり、企業におきましても女性の能力を有効に活用することが重要であると思えます。

本年も、全国商工会議所婦人会連合会総会「千葉大会」が、去る十一月十日幕張メッセで開催されたところであります。景気の低迷にもかかわらず、全国より三

千六百人を超える女性が集い、パワーを結集し活力あふれる総会でありました。このパワーを少しでもいただき、それぞれ単会の婦人会で活性が図ればと思えます。

このような時期こそ皆様の力を結集して、一丸となって進んでいかなければなりません。滋賀県内にも、六商工会議所が設立され、それぞれ婦人会におきまして、各種事業を展開されていることと存じます。県内におきましても会員相互の連携を密にし、交流を深め様々な課題に取り組んで行きたいと思えます。

そのさきがけとして来年一月に、滋賀県商工会議所婦人会連合会の設立を予定しているところであります。県商婦連の初仕事として、第十一回近畿商工会議所婦人会連合会総会「大津大会」を開催させていただければと思えます。近畿各地

よりのお客様が満足していただけるようおもてなしの気持ちを大切にお出迎えできればと思えます。その際には、皆様方の格段のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴会の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。



新しい自分を探すために

藤木 恵美子

私は、「近八恵」 キンパチメグミと申します。何の事はない、近江八幡市藤木恵美子の略名であります。内職を始めた時から、自分なりの夢を持って、必ずや、自分の名前で創作小物でも作った時に、「近八恵」のマークをオリジナルグッズにと夢を描きつつ今まで各皆さんの御支援に加えて、精いっぱい頑張ってきたつもりですが、勿論主人の協力、努力なしでは、得られるものは何もありません。もし、「こんな物をこうして、こうしたら」という様なヒント・アイデア等ありましたら、是非ご協力をお願い申し上げます。

裁断された物を、ただ縫うだけの仕事なのですが、この頃の社会情勢の中、人生への教訓を学ばせてもらっている様に思われてなりません。ミシンの一針一針に真心と感謝を込めての仕事でありますが、一から順に手順よくしていかないと、とんでもない事になったり、やり直し縫い直しのきかない商品も多々あり、



糸切やネームのつけ忘れ等、初歩的なミスは許されません。

一生懸命に仕上げ、納品したのに、返品の方が多く涙する時もありました。今思えばやっぱり返品も当然だったのです。主人と「あんな縫い方でよう売れたのかなあ」とその頃を振り返っては気が恥ずかしい思いでいっぱいです。時には大きな落とし穴も手を広げております。レザーのバックから始めて、チコーフロートのキルティング製品を主に縫製しておりますが、幸いにもあちこちから声をかけて下さいますので、大変嬉しく心から皆様に感謝しながら今は吉本興業のグッズの縫製をしています。

つと応援拍手をしてあげても良いのではないのでしょうか。子供が八幡吹奏楽団のお世話になっている事もあります。私達は時折時間を取ってピアノ等を楽しむ事しております。

私は黄色の花が大好きで特に寒咲菜種が吹き抜ける寒風の中に咲いているのを見ると大変嬉しくなります。

十二月中旬から春先まで咲いてくれるので大好きなのですが今年も二袋も種をまいたのに、一本も発芽しませんでしたので大変心淋しく思っています。

赤い花、白い花、大きな花に小さな花、私は花が大好き、私の心の窓にも、美しい花を咲かせたい。生きている事の幸せと喜びを精いっぱい感じつつ。

近八恵



“ 人生のセカンドでビュー、第二

の私こそ見つけたらもっと美しく強くなれる”

山本 愛子

浜美枝先生の講演のテーマのように誰もが美しく輝きたいものです。年を重ねるほどに私はいついついマンネリで毎日を通り過ぎてしまいます。それはそれで幸せな事ですが、同じ毎日でも何かどんな些細な事でもいいので、目標(夢)を持ち生活を少し見直せば、又、違ったものが見えてくると思えます。

今日の社会情勢では、なかなか、喜ばしいニュースが入ってくるのが少なく、誰もがつい政治が社会が悪いと嘆いてしましますが、生活の原点に戻り、ちよつとした事に喜び、幸せを見出し感謝の心を持って、もっと気持ちよく仕事に暮らしたいと思えます。

そして、浜美枝先生が言われた更年期を好年期とし、何事も笑顔に切り変えて日々仕事に暮らして生き甲斐を見つけ、充実した毎日を送って行こうと思えます。

12月と言えば忠臣蔵!

そこで忠臣蔵クイズ

- 第1問、大石内蔵助は討ち入りの時、何歳だったのでしょうか?
- 第2問、四十七士の討ち入りの時の平均年齢は?
- 第3問、四十七士の主君、浅野の殿様のフルネームは? さあ、どうですか。NHK大河ドラマは「元禄繚乱」に決まりました。クライマックスには雪が降る事を願って、暖冬に忠臣蔵は似合いませんよね。

(答え) 第1問、45歳 第2問、38.6歳(最年長77歳、最年少16歳) 第3問、浅野内匠頭長矩(あきのたくみかたのり)

浜美枝氏ではありませんが、新しい自分を探すために、私も今精いっぱいがんばっています。近江八幡商工会議所婦人会には、本来なら私のような者が入会させて頂く立場にはありませんが、地域社会の繁栄に貢献することを目的とあり、その主旨に賛同し、その活動を耳にして、大変感銘を受け、ほんの少しでも、お手伝いさせて頂けるのだらたらと若い頃、恵まれない人達に少しでも喜んで頂けるならと自分なりのグループを作った今でいうボランティアをしていました。自分から進んで入会させて頂きました。今は本当に入会させて頂いて良かったと心から嬉しく思っています。

先日七日、文化会館で第十七回近江八幡市・音楽祭に主人と楽しみ出かけました。八組のコーラスと三組の吹奏楽団でしたが、小ホールであるにもかかわらず、観客の少なさにびっくりしました。カラオケや演歌ならという人が多いのかもしれないですが、この音楽祭を目標にしているとお言葉がありました。しかし毎日きびしい練習を重ねての成果だったろうにと思えば、余りにも心淋しく美しいハーモニーだけが心に残りました。も

大切なひと時

尾賀明子

夫は普段大体六時半から七時頃に帰宅します。私はそれまでに食事の仕度を終え、お風呂にお湯を張って帰りを待ちます。けれど帰宅しても普通のお勤めの方のようにすぐお風呂、食事という事はありません。一日の会社業務の締めくくりが待っているのです。

一緒に仕事をしながらお互いのその日の出来事を話し合ったり相談を持ちかけたりします。時には話に身が入りすぎて帳尻が合わなくなってしまう叱られることも度々ですが、私達に取ってささやかながら大切なひと時なのです。

「話しかけて答えてくれる相手の居る暖かさ」 俵万智さんの繊細でナイーブな感性がどの様な場面でこの歌を詠ませたのか知るよしもありませんが、むしろこの歌は半世紀近くを共に生きた私達にこそしみじみとした共感を与えてくれる様な気がします。話しかけて答えてくれる。そんな当たり前と思われる事に、ふと幸せを感じるこの頃の私なのです。

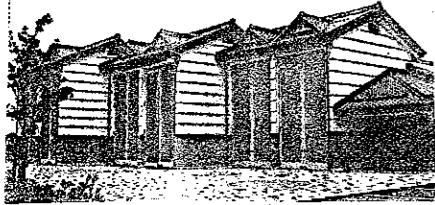
ぶらり八幡

浅小井町

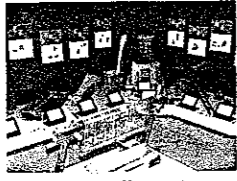
◆ 曳山とイ草の館

「湧水」「まちづくり」「曳山」「イ草」の四つをテーマとし、町民が主役のまちづくりの拠点となっている、浅小井町の自治会立の伝習施設です。

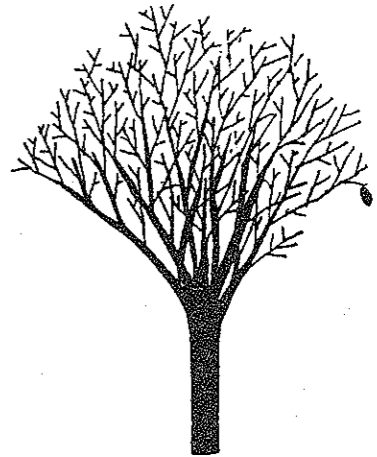
江戸時代より浅小井町で栽培されているイ草に関する展示、また、その年の干支や世相を反映したダシを飾った六基の曳山を見ることができ、ユニークな資料館です。



▲ 曳山とイ草の館



▲ イ草の展示

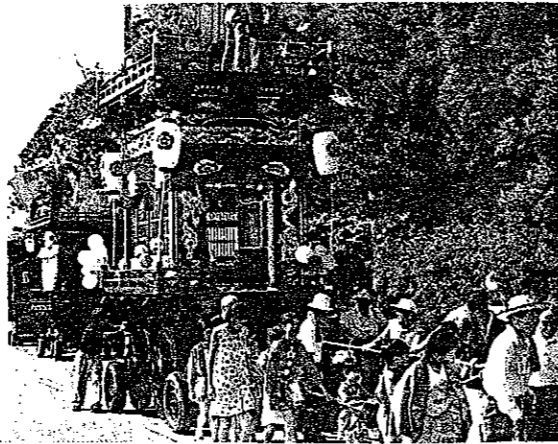


招かざる客

小川 和子

去る九月十四日の今朝我が家に大事件が起こりました。午前六時頃離れから母屋に戻って来ると、息子夫婦が、「どうしようえらいことや、とうとうやられてしまった」等と言いながら家中の引き出しや戸棚などを探し廻っていたのです。最初は何を慌てているのかと解らず「キョト

ン」としていたのですが良く聞いてみるとそれは「招かざる客」即ち泥棒さんのお出ましだったのでした。昨年来より商売屋ばかりを狙ったの物盗りが頻繁しているとは聞いていたので、戸締まりだけはしっかりしていたつもりでしたが、まさか自分の家が狙われているとは思っていなかったため、それはショックでした。それでもまだ現金だけを持って行かれたのでしたから良かったと云うか、それは又みんな頑張れば取り返せる程度の金額だったので。万が一入られているのに気付いて反対に怪我でもさせられていたならばその方がもつともっと大事になっていたと思います。事件以後しばらくは夜になって来ると気持ちが悪かったものでした。現金は絶対身近に置いて寝るのが安全だと思えます。現金以外の現金通帳、その他足のつくものには一切手をつけないのですから、どうぞ皆さんも汗水流して稼いだお金大事に大事に保管して下さい。我が家の様な口惜しい目に合わないように充分気を付けて頂きたいと思えます。



▲ 浅小井町 祇園祭

時の流れを

そつととめたとき

心が静かになるような

ひとときを求めて

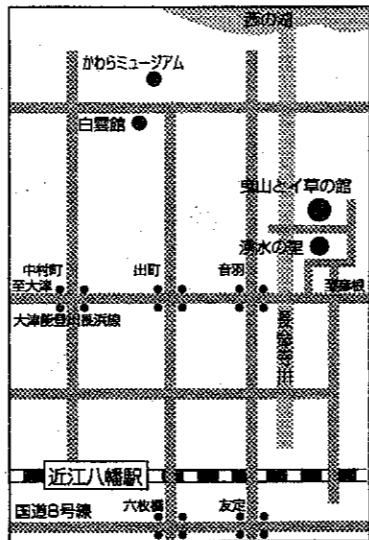
ぶらつとでかけてみては

いかがでしょうか

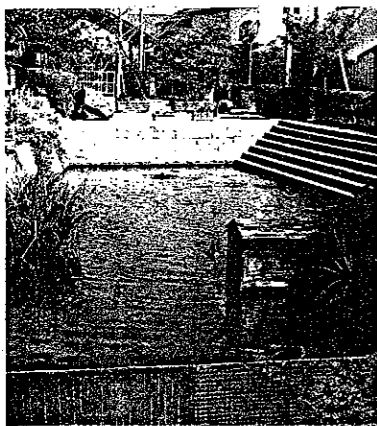


◆ 湧水の里

鈴鹿山系に水脈をもつ愛知川の伏流水が、豊富に湧き出る町民の憩いの場です。平成八年に水の里百選に認定されており、鳥や魚が美しい湧き水と遊ぶ姿はまさに現代人が忘れかけているものを思い出させてくれます。



▼ 浅小井町湧水の里



おふくろの味がズラリ

「酒とアートの宴」に参加して

十月十七・十八日に近江八幡の町並みを使って、びわこデザイン文化協会と滋賀県酒造組合連合会が主催される、「酒とアートの宴」に後援させて頂きました。

浜美枝さんのトークショーにおいて、おもてなしの心、しつらえの仕方など、「お酒の肴」がふるまわれ、我が家の味、愛する人のために食べていたいただきたい酒の肴を、婦人会が提供することになりました。

近江八幡ならではの味、赤こんにゃくや湖魚、また、お祝い事のお赤飯や、男子誕生を祝っての黒豆の白むしご飯など、おふくろの味がずらりと並びました。婦人会会員十名を含めて、県内外の参加者がそれぞれに楽しく酒談義と浜美枝さんのトークショーを楽しみました。



一参加会員より

ユニセフ写真展のお知らせ

「僕らの声が聞こえますか

児童労働写真展」

期間：12月10日(木)～13日(日)
AM10:00～PM5:30
会場：旧市立図書館 入場無料

ひとりでも多くの方に見ていただき、ユニセフの取り組みをご理解ください。

今月の後の事業予定

- ・11月25日(水) 10:00
「同和問題研修会」
- 「毛筆フリースタイル講座
表書き&宛て名書き」
- ・11月30日(月) 11:00
県下正副会長会議(彦根)
- ・12月17日(木) 13:30
「理事会」
- ・1月下旬
「新年懇談会」
- ・2月中旬、下旬
「視察研修会」(未定)
- ・4月初旬
「理事会」
- ・6月8日(火) 平成11年度総会
- 「近商婦連総会大津大会」

編集後記

後一カ月と少しで平成十年を終える。

バブル景気ははじけて、十年弱。余りにも長びく不況。来年こそは、景気回復のきざしを見たいと望みつつ、新メンバー揃ってワイワイガヤガヤと談笑の中、あすなる9号が出来上がりました。

原稿をお願いしました会員様、ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

また、「あすなる」に対し、御意見、アイデアをお寄せください。参考らせていただきたく思います。

N・N

